

東日本大震災から、4年。被災地では、懸命な復興活動が続いています。
セブン&アイが取り組む避難指示区域福島県飯舘村の復興支援企画

「までいをまとう」販売会

1/2p

3月7日(土)・8日(日)西武東戸塚店で開催

■会期：3月7日(土)・8日(日)

■開催時間：3月7日(土)=午前10時～午後8時、3月8日(日)=午前10時～午後5時

■会場：西武東戸塚店 4階=中央通路 特設会場

■主催：いいたてカーネーションの会

東日本大震災からまもなく4年が経とうとしていますが、未だ被災地域では、多くの人々が自宅を離れた仮設住宅での生活を余儀なくされています。

そのような中、西武東戸塚店(神奈川県横浜市)では、3月7日(土)・8日(日)の2日間、被災地である福島県飯舘村の女性の方たちが、全国より善意で寄贈された着物や布はくを使い、心を込めて作った「までい着」と名付けた作務衣などの衣料品・小物など約50アイテム約3,000点を自らが販売するという「までいをまとう」販売会を開催いたします。

「までい」とは、「大切に」「心を込めて」という意味の福島県飯舘村周辺の言葉です。「までいをまとう」販売会は、セブン&アイによる被災地の復興支援活動の一環として2012年3月からスタートし、これまで多くのお客様のご理解とご支援ご支持をいただきながら、

“飯舘村の女性たちの自立支援を目的として続けている活動”です。



・東日本大震災から4年…



・飯舘村の女性たちの、ひと針の想い



・「までい着」と名付けた作務衣の一例

あわせて、飯舘村の風景、仮設住宅内でのまでい着製作の様子を伝える写真パネル約35点の展示もいたします。

◆「自立をめざす飯舘村の女性たち写真展」

■会場：7階=ファーストブリッジ 特設会場

■会期：2月28日(土)～3月8日(日) ※最終日3月8日(日)は午後5時にて終了

飯舘村の女性たち「いいたてカーネーションの会」の自立の歩みは続きます



●全国から寄贈された着物をリメイク



●そごう・西武 法人外商のデザインアドバイザー



●協力メーカーも技術指導で参加



●飯舘村の女性たちが自ら接客



●開催に向け、会場店舗で打ち合わせ



●そごう・西武の店舗会場(今回は、東戸塚店)で販売仕器を用意し販売。売上は全額「いいたてカーネーションの会」へ

